

都立神代 高等学校 令和 6 年度（3 学年用）教科 情報

单位数：2

使用教科書：（情報Ⅱ（日本文教出版）

の目標： 情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養

の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・効果的・創造的に活用し、情報社会に主体的に参画してその発展に寄与するた

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めている。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を用い適切かつ効果的、創造的に用いている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価
1 学期	情報Ⅰの振り返り、情報社会に生きる。 【知識及び技能】内容の復習点を見つける。 【思考力、判断力、表現力等】学習内容を振り返り、十分理解している点、復習すべき点について考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】情報技術および情報社会の理解にどのように役立ちそうか見通しを立てようとしている。	・なぜ「情報Ⅱ」を学ぶのか ・「情報Ⅱ」で学ぶこと ・学習の前に確認しよう ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】DX, Social化の進展を表す考え方を理解している。 【思考・判断・表現】情報技術の価値や社会貢献を考え、主体的に学習に取り組み、キーワードによる検索の活用点について確かめようとしている。
	情報社会の進展と情報技術 【知識及び技能】情報技術の発展と歴史より、情報社会の進展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】情報セキュリティを確保するために必要な技術がどのような役割をはたしているか考えられる。 【学びに向かう力、人間性等】情報に関する法規や制度を理解して、情報社会に主体的に参画しようとしている。	・情報技術による社会や生活の変化 ・情報社会とセキュリティ ・情報社会における権利と法律 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】ソーシャルメディアによるコミュニケーションの活用について理解している。 【思考・判断・表現】情報技術の発展の意義について考え、主体的に学習に取り組み、課題を発見・考察すること、情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。
	コンテンツの制作 【知識及び技能】効果的なコンテンツを制作する過程での留意点を把握している。 【思考力、判断力、表現力等】効果的なメディアの使い方について、具体的に考え表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】ユーザ調査に必要な調査内容や、ユーザ要件定義の具体化のために、積極的に意見交換している。	・コンテンツ制作のプロセス ・仮説生成と要件定義 ・メディアプランニング ・コンテンツの制作と評価・改善 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】コンテンツの制作・公開・内容を管理する方法を理解している。 【思考・判断・表現】効果的な表現方法を考え、実施すること、主体的に学習に取り組み、振り返り、自らの成長を促している。
	WEBサイトによる情報発信 【知識及び技能】Webアプリケーションの仕組み役割について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】Webアプリケーションの導入選択ができる。 【学びに向かう力、人間性】アクセス解析を通じて改善策を提案できる。	・WEBサイトのしくみと情報発信 ・WEBサイトの定量的な分析 ・プロタイプの作成 ・レスポンス化 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】アクセス解析の重要性を理解している。 【思考・判断・表現】改善策を考え、実行すること、主体的に学習に取り組み、入力など、ページを魅力的にする。
	定期考査		
	データ活用の重要性（収集と整理） 【知識及び技能】社会で活用されている情報システムのしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】適切な前処理と	・情報システムとデータ ・データサイエンスの活用 ・データの収集と整理	【知識・技能】データ活用が様々な学問分野であるか理解している。 【思考・判断・表現】データの活用方法を理解している。

2 学 期	統計処理を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】データと尺度の関係を理解しようとしている。	・スマートスクール端末の活用 等	サンプリングサイズを表現 【主体的に学習に取り組み、 処理を適切に行おうと
	データの蓄積と活用、分析 【知識及び技能】データベースを正規化する目的と手順を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】取得したデータを可視化するために最も適切なグラフを選択し表現できる。 【学びに向かう力、人間性】データから数理モデルを構築しようとしている。	・リレーショナルデータベース ・非関係データベース ・数理モデル、機械学習 ・変数選択と次元削減、回帰分析分類 ・クラスタリング ・ニューラルネットワーク ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】データを取り出すための操作を理解している。 【思考・判断・表現】、構築することができる。 【主体的に学習に取り組み、 シミュレーションとデータベースの活用を組み合わせる場合のないようにすること、
	定期考査		
3 学 期	情報システムとプログラミング 【知識及び技能】情報システムの利便性と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報システムが果たす役割を考え説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】情報システムの影響力について、積極的に考えられる。	・情報システムと社会への影響 ・情報システムの処理のしくみ ・システム開発設計とプログラミング ・テストと運用 ・プロジェクトマネジメント ・スマートスクール端末の活用 等 ・情報と情報技術を活用した問題解決 ・情報技術を活用した問題解決の探求 ・リーフレット作成 ・機械学習によるデータ分析 ・WEBアプリケーションの開発 ・スマートスクール端末の活用 等	【知識・技能】情報システムがどのように処理され、活用されているかを理解している。 【思考・判断・表現】、図で表現することができる。 【主体的に学習に取り組み、 習内容を、具体的に書
	情報技術を活用した問題発見・解決の探求 【知識及び技能】問題とは何であり、何をどうすれば解決できるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】これまでの学習と今後の実践とを関連付けて考えられる。 【学びに向かう力、人間性】相互評価の結果を、自身のプロダクト改善に活かそうとしている。		【知識・技能】これまでを振り返り、理解している。 【思考・判断・表現】、に生かす方策を具体的に示している。 【主体的に学習に取り組み、 解決に向けて、考慮すること、
	定期考査		

科目 情報Ⅱ

2 単位

)

社会に参画する態度

深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて

て情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

らう。

・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切に
めめ資質・能力を養う。

	【学びに向かう力、人間性等】
適	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価・改善し新たな価値を創造しようとしている。

価規準	知	思	態	配当 時数
society 5.0など近年の情報 を理解している。 情報技術が生み出す新た られる。 組む態度】チェックリス 確認を通して、復習すべ うとしている。	○	○	○	4
ャルメディアの発展によ の多様化について理解し データ活用やAIを利用す れる。 組む態度】情報社会の間 とを通して、情報と情報 に活用しようとしてい	○	○	○	7
ンツを制作する工程時 法を理解している。 完成したコンテンツの評 ことができる。 組む態度】本時の学習活 学習を改善しようとして	○	○	○	8
スログを解析し問題・課 を理解している。 Webサイトに必要なSEO対 とができる。 組む態度】動的ページ導 的にしようと工夫してい	○	○	○	7
	○	○	○	1
サイエンスとはどのよう 解している。 標本調査における適切な エブメントがブキエブ	○	○	○	16

することかできる。 組む態度】 前処理と統計 している。	○	○	○	10
ベースで必要な情報を取 解している。 データから数理モデルを 、 組む態度】 アプリケー の連携を、適切かつ不具 ができる。	○	○	○	15
	○	○	○	1
システムで扱われるデー タているか理解している。 読み取った情報を文章や きる。 組む態度】 これまでの学 き出そうとしている。	○	○	○	10
で学習してきた内容を把 学習内容を、今後の実践 に描くことができる。 組む態度】 よりよい問題 べき要点を具体化しよう	○	○	○	8
	○	○	○	1
				合計
				78